2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究（Graduation Thesis）		
ナンバリングコード	N41901	大分類 / 難易度 科目分野	航空宇宙工学科 専門科目 / 総合レベル 卒研
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	N190106	クラス名	山岸研究室
担当教員名	山岸　利幸		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究着手にはこれまでに取得した単位数の条件（下限値）があります。その条件を満たさない場合はこの授業を履修することはできません。 自ら率先して役割を果たすこと。受け身の姿勢は認めません。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	航空機の基本技術、航空機整備作業の基準（日本航空技術協会）		
関連科目	特になし		

○基本情報		
授業の目的	航空宇宙工学科ディプロマポリシー「常に社会や技術に関心を持ち、地域社会や産業の発展に貢献できる。また、課題に果敢に取り組み、柔軟な思考で課題解決法を見出すことができる。」、「周囲の意見・立場をよく聞き分け理解しながら、課題等の解決にむけ技術的に思考、判断できる。また判断した結果を理論的に表現し相手に明確に伝えることができる。」に関して、どんな仕事であっても共通した仕事への取り組み方や姿勢があります。これらを研究活動を通して修得してもらいます。	
授業の概要	詳細かつタイムリーに指導教員と研究の方向性や手順を調整し、効率的な研究を行います。 なお、研究に関連したイベントを以下に示します。1）、2）は対応必須です。 1） 中間発表会（学科内） 時期：10月　／対象：全員（全グループ） 2） 最終発表会（学科内） 時期：2月上旬／対象：全員（全グループ） 3） 合同発表会（全学） 時期：2月下旬／対象：各学科最終発表会での最優秀者（最優秀グループ）	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	チームでの各々の役割を果たし、チームとしての活動推進へ積極的に関与出来る。		10点	
【知識・理解】	研究の目的を理解し、必要となる解決策を見つけることが出来る。		70点	
【技能・表現・コミュニケーション】	自分が頭の中で考えていることを言葉で正確に表現出来る、又相手が言葉で表現したことを正確に理解出来る。			10点
【思考・判断・創造】	正面からだけでなく、側面、背面からも物事を見て判断する、といった柔軟な思考を身に付ける。		10点	

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）
卒業研究での成果物、論文、及び　プレゼンテーション

○その他
以下の項目は必ず成績評価対象となります。 1） 研究室毎に決めたミーティングへの出席 2） 中間発表会への参加 3） 最終発表会への参加 4） 卒業研究の報告書

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）	授業コード	N190106
	担当教員	山岸　利幸		

学修内容

1. 申し送りの確認 作業内容、器材、材料等の確認をする。	
予習	約2時間
復習	約2時間
2. 申し送りの確認 不足している器材、材料等の準備をする。	
予習	約2時間
復習	約2時間
3. 役割の分担 各人の力量、意欲等で役割分担を決める。	
予習	約2時間
復習	約2時間
4. 作業の準備 器材の使用方法、材料の不足の確認をする。	
予習	約2時間
復習	約2時間
5. 計画の立案 目標を設定し計画を立案する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
6. 計画の遂行 計画に沿って研究を開始する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
7. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
8. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間

○授業計画	科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）	授業コード	N190106
	担当教員	山岸　利幸		

学修内容

9. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
10. 計画の見直し 当初計画と実績を合わせて、必要により計画を変更する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
11. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
12. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
13. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
14. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
15. 計画の見直し 2回目の計画見直しを実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
16. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	
復習	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）	授業コード	N190106
	担当教員	山岸　利幸		

学修内容

17. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
18. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
19. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
20. 計画の見直し 3回目の計画見直しを実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
21. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
22. 卒論中間発表準備 必要なデータを整理し卒論中間発表の纏めを行う。	
予習	約2時間
復習	約2時間
23. 卒論中間発表準備 必要なデータを整理し卒論中間発表の纏めを行う。	
予習	約2時間
復習	約2時間
24. 卒論中間発表 卒論中間発表を実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間

○授業計画	科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）	授業コード	N190106
	担当教員	山岸　利幸		

学修内容

25. 計画の見直し 中間発表準備段階で判明した問題点への対応策を講じる。	
予習	約2時間
復習	約2時間
26. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
27. 計画の遂行 各作業においてPDCAサイクルを回して確認する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
28. 計画の遂行・卒論纏め 必要なデータを整理し卒論の纏めを行う。 残作業を実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
29. 計画の遂行・卒論纏め 必要なデータを整理し卒論の纏めを行う。 残作業を実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
30. 計画の遂行・卒論纏め 必要なデータを整理し卒論の纏めを行う。 残作業を実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
31. 計画の遂行・卒論纏め 必要なデータを整理し卒論の纏めを行う。 残作業を実施する。	
予習	約2時間
復習	約2時間
32. 卒論発表 卒論発表を実施する。	
予習	
復習	